

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

学校名【 豊田市立朝日小学校 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	第4学年 90名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 国語・体育・特別の教科 道徳 ）</p> <p>② 行事名（ 学習発表会・学年運動会 ）</p> <p>③ その他（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック・パラリンピックの知識を深めたり、競技を体験したりして、スポーツに対して興味をもつ。</li> <li>・ 福祉体験を通して、自分や周りを大切にできる気持ちをもったり、自分にできることについて考えたりすることができるようにする。</li> <li>・ パラリンピアンとの交流を通して、目標をもって取り組むことの素晴らしさに気付く。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) オリンピック・パラリンピックの理解</p> <p>① 「TOKYO 2020 for KIDS」の活用</p> <p>② オリンピック・パラリンピックについての調べ学習</p> <p>③ 「I'mPOSSIBLE」の活用</p> <p>④ シッティングバレーボールやボッチャの体験 (ボッチャは学年運動会の競技として実施)</p>



	<p>(2) 車いす体験、車いす利用者との交流</p>  <p>(3) パラアスリートによる講演会 「夢の力」 井谷俊介氏（陸上）</p>  <p>(4) 学習発表会（授業参観）の実施 1年間の活動内容を、学習発表会を通して振り返った。</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック・パラリンピックに対する興味関心を高めることができた。</li> <li>・ 福祉体験を通して、校内や公共施設にあるバリアフリーへ目を向けることとなり、福祉を身近に感じることができた。</li> <li>・ パラスポーツの体験や「I'mPOSSIBLE」の活用を通して、誰でも参加できるようなルールを考えたり、相手の気持ちを考えたりすることの大切さに気付くことができた。</li> <li>・ パラアスリートの生き方にふれたことで、「ありがとうの気持ちを大切にしたい」「自分の夢に向かってがんばりたい」と、これまでの自分を見つめ直したり、将来について考えたりするきっかけとなった。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な教科と絡めて、計画的に取り組んだこと。</li> <li>・ 市の社会福祉協議会と連携して、障がいのある方と交流しながら車いす体験やボッチャ体験を行ったこと。</li> <li>・ 車いす体験では、事前に「I'mPOSSIBLE」を使って、介助者に目を向けられるようにし、自分にできることはないか考えるきっかけづくりをしたこと。</li> <li>・ 学んだことを発信する場を設けたこと。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休校期間もあり、調べ学習に十分な時間を設定することが難しかった。</li> <li>・ コロナ禍での体験活動や講師との交流の仕方について、よりよい方法を考えていく必要がある。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>5年生でも引き続き共生社会について学習する。妊婦体験や高齢者疑似体験などを通して、より自分たちの生活に寄り添った福祉について考えを深めていく。</p>